

平成 30 年 4 月 23 日

第49回 国際物理オリンピック (IPhO2018) ポルトガル大会 日本代表選手決定について

特定非営利活動法人 物理オリンピック日本委員会
理事長 北原 和夫

特定非営利活動法人物理オリンピック日本委員会は、第49回国際物理オリンピック(期間:2018年7月21日～29日 開催国:ポルトガル)に派遣する日本代表選手5名を決定した。

国際物理オリンピックは、1967年にポーランドのワルシャワで第1回大会が開催された物理の国際的なコンテストで、全世界80前後の国・地域から高等教育機関就学前の若者が参加し、物理学に対する興味関心と能力を高め合うとともに、国際的な交流を通じて参加国における物理教育が一層発展することを目的として、毎年開催されている。

わが国は2006年、第37回国際物理オリンピックIPhO2006シンガポール大会に初めて日本代表選手5名を派遣し、以来毎年参加し、メダルを獲得している。2017年の第48回国際物理オリンピックIPhO2017インドネシア大会での成績は、金メダル2名、銀メダル3名であった。金メダル受賞者のうち1名は、「Absolute Winner」(総合最高得点)及び「Experimental Winner」(実験問題最高得点)の表彰を受けた。

国際物理オリンピックでの「Absolute Winner」、「Experimental Winner」受賞は、日本人初の快挙である。

今回日本代表となった5名の選考過程は以下の通りである。

第13回全国物理コンテスト・物理チャレンジ2017(応募者1967名)の第1チャレンジによって選抜された101名が、昨年夏に岡山県で開催した第2チャレンジに臨み、その中で優秀な成績を収めた12名を日本代表候補者として選抜した。

日本代表候補者には、9月に開催した「秋合宿」において国際物理オリンピックに向けた訓練のガイダンスと実践的基礎学習を行ったのち、インターネットを利用した「理論問題・実験データ解析演習の通信添削」、12月末には「実験実習を主体とした合宿研修」、さらにこの3月末には「最終選考合宿」を行って、最終的に日本代表5名を決定した。

代表者5名は、引き続き国際大会参加に向けたトレーニングに参加し、ポルトガル大会に備えている。

日本代表選手役員団の結団式・壮行会は7月20日(金)午後、東京理科大学(神楽坂)で行い、翌日ポルトガルに向けて出発する予定である。

なお、2019年に開催される第50回国際物理オリンピックの日本代表選考を兼ねる国内コンテスト、第14回全国物理コンテスト・物理チャレンジ2018を国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)で本年8月19日～22日に開催する。詳しくは、ホームページ参照。

第49回国際物理オリンピック (IPhO2018) 日本代表選手

氏名	フリガナ	性別	学校名(所在地)	学年
大倉 拓真	オオクラ タクマ	男	岡山県立岡山朝日高等学校(岡山県)	3年生
喜田 輪	キダ リン	男	初芝富田林高等学校(大阪府)	3年生
末広 多聞	スエヒロ タモン	男	大阪星光学院高等学校(大阪府)	2年生
永濱 壮真	ナガハマ ソウマ	男	大阪星光学院高等学校(大阪府)	3年生
吉見 光祐	ヨシミ コウスケ	男	灘高等学校(兵庫県)	3年生

※ 氏名50音順

<問い合わせ先> 特定非営利活動法人 物理オリンピック日本委員会 事務局 菊池 祥子
東京都新宿区神楽坂 1-3 東京理科大学内

TEL 03-5228-7406 FAX 03-3268-2345 info@jpho.jp http://www.jpho.jp

「国際物理オリンピック」について

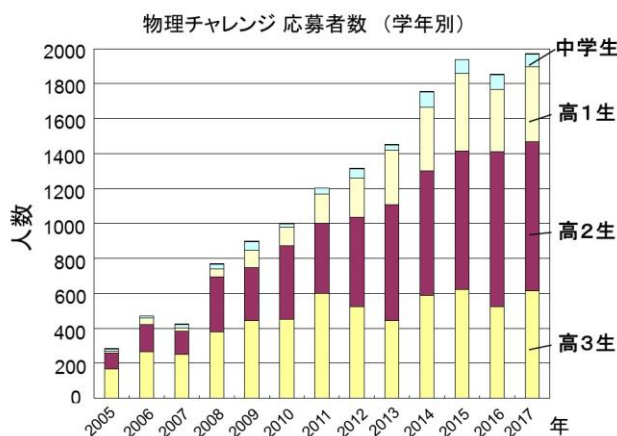
国際物理オリンピックの参加資格は、20歳未満で大学・短期大学などの高等教育を受けていない生徒たちです。各国内で選抜された最大5名の代表選手たちが、大学・高校教員からなる大会日本役員（リーダー、オブザーバ）とともに参加します。約10日間という長い会期のあいだ、選手は理論問題と実験問題にそれぞれ5時間をかけて挑戦するほか、他国からの参加者や主催者と国際的な交流を深めることができるように構成されています。役員たちは問題の翻訳や採点交渉などを行います。

近年の開催国／都市は、2006年 シンガポール、2007年イラン／イスファハン、2008年ベトナム／ハノイ、2009年メキシコ／メリダ、2010年 クロアチア／ザグレブ、2011年タイ／バンコク、2012年エストニア／タリン、2013年デンマーク／コペンハーゲン、2014年カザフスタン／アスタナ、2015年インド／ムンバイ、2016年スイス・リヒテンシュタイン／チューリッヒ、2017年インドネシア／ジョグジャカルタでした。

2022年には日本で開催する予定です。

特定非営利活動法人物理オリンピック日本委員会について

特定非営利活動法人 物理オリンピック日本委員会 (JPhO) は、全国物理コンテスト「物理チャレンジ」を開催し、そこから国際物理オリンピックに派遣する日本代表選手を選抜し、さらに選手を訓練して国際大会に派遣することを主たる事業としています。この事業は、物理関連学会や、全国の大学、地方公共団体、研究所等の支援とともに、科学技術振興機構を通じて国の支援を得て継続しております。本法人は、我が国の高校生・中学生の間に広く物理に対する興味・関心を喚起するために、全国各地で高校生・中学生、それに中学校および高校の先生方を対象としたプレチャレンジ等の普及啓発活動も広く行っています。



物理チャレンジ (国内選抜大会) 応募者数



国際物理オリンピック (IPhO) 参加国数

国際物理オリンピックでの日本選手団の成績

第48回 インドネシア大会 (2017年)	金 金 銀 銀 銀
第47回 スイス・リヒテンシュタイン大会 (2016年)	金 金 金 銀 銅
第46回 インド大会 (2015年)	金 銀 銀 銅 銅
第45回 カザフスタン大会 (2014年)	銀 銀 銀 銀 銅
第44回 デンマーク大会 (2013年)	銀 銀 銅 銅 銅
第43回 エストニア大会 (2012年)	金 金 銀 銀 銀
第42回 タイ大会 (2011年)	金 金 金 銀 銀
第41回 クロアチア大会 (2010年)	銀 銅 銅 銅 入賞
第40回 メキシコ大会 (2009年)	金 金 銀 銅 銅
第39回 ベトナム大会 (2008年)	金 銀 銅 入賞 入賞
第38回 イラン大会 (2007年)	金 金 銀 銀 銅
第37回 シンガポール大会 (2006年)	銀 銅 銅 銅 入賞

IPhO での日本代表選手の成績